



1946.12.21

# 昭和南海地震

岡山地方気象台に残る記録

# はじめに

1946年12月21日に発生した紀伊半島沖を震源とするマグニチュード8.0の「昭和南海地震」は、戦後間もない日本を襲った死者1,300人を超える大震災でした。

岡山県においては、当時岡山市内山下にあった岡山測候所の震度こそ4でしたが、県南の埋め立て地や干拓地、河川の下流域を中心に激しい揺れに見舞われ、死者約50人、全壊約1,200棟の被害が発生したと記録されています。また、顕著な被害はなかったものの、注意報級の津波が沿岸に襲来し、旭川を遡上したと記録されています（いずれも岡山測候所(当時)調べ）。

2026年が昭和南海地震から80年の節目の年に当たることから、岡山地方気象台では気象台に残る岡山測候所の昭和南海地震の調査記録の一部と、収集した被害写真を公開することとしました。

昭和南海地震は、駿河湾から日向灘のプレート境界を震源域とし概ね100～150年間隔で繰り返し発生している「南海トラフ地震」の一つです。その発生から約80年経った現在、次の南海トラフ地震が今後30年以内に発生する可能性は高く、いつ発生してもおかしくないと評価されています。また、科学的に想定される最大級の南海トラフ地震、いわゆる「南海トラフ巨大地震」では、岡山県の最大震度は6強、沿岸には警報級の津波が襲来することが想定されています。岡山県においても南海トラフ地震への備えは待ったなしです。

今回公開する記録が、過去に岡山県であった震災を認知し、南海トラフ地震を我がこととしてとらえ、地震対策を進めていただく際の一助となれば幸いです。

# 昭和21年12月21日 地震調査記録 岡山測候所

岡山地方気象台に残る、岡山測候所(当時)の昭和南海地震の調査記録の一部。

# 地震報告

昭和二十一年十二月二十六日

昭和二十一年十二月二十一日熊野灘に発震せる地震に関し岡山県の模様を速報として其の概略を報告す。尚詳細は調査の上改而再報告す。

## 発震當時の當所の模様

本震の岡山の発震時は午前四時十九分(地震計は戦災のため消失)にして本県としては最近の地震史に未だ嘗てない稀有の地震なり。岡山は中震程度にして地震のおこる前大體南東方向に大砲の音の如き地鳴を聞き間もなく割合に緩やかな南北の水平動がおこり次第に其の強度を増し約五分間に亘り激動す。地鳴は約一分程度にて終る。尚発光現象は観測せず。振動状態は所謂海底地震型にて振動方向は大體南北動なり。此のため震源地は海底と推定す。當時の観測者のみだ当直室は壁に亀裂を少し生じたる程度にして其の他殆んど被害なし。然し電燈は地震と同時に各所でスパークをおこし停電す。又電信電話も不通となる。

## 岡山縣下の被害

### 地震報告

昭和二十一年十二月二十六日

昭和二十一年十二月二十一日熊野灘に発震せる地震に関し岡山県の模様を速報として其の概略を報告す。尚詳細は調査の上改而再報告す。

## 発震當時の當所の模様

本震の岡山の発震時は午前四時十九分(地震計は戦災のため消失)にして本県としては最近の地震史に未だ嘗てない稀有の地震なり。岡山は中震程度にして地震のおこる前大體南東方向に大砲の音の如き地鳴を聞き間もなく割合に緩やかな南北の水平動がおこり次第に其の強度を増し約五分間に亘り激動す。地鳴は約一分程度にて終る。尚発光現象は観測せず。振動状態は所謂海底地震型にて振動方向は大體南北動なり。此のため震源地は海底と推定す。當時の観測者のみだ当直室は壁に亀裂を少し生じたる程度にて其の他殆んど被害なし。然し電燈は地震と同時に各所でスパークをおこし停電す。又電信電話も不通となる。

# 昭和二十一年十二月二十日 地震調査記録

4時19分38秒

岡山測候所

結言

此度の地震は岡山県としては未<sup>に</sup>有とも謂ふべく  
80才の老人も経験しないと言ふ。そして死者54名、家屋  
3000個の被害と橋梁、堤防の損害は可成り大きい。  
しかし生産方面の直接の被害は少い模様である。

岡山県といは地震帯外に於て将来斯様な  
地震に対する対策は軽く考へられようが、新生低地  
に於ける家屋の構造、堤防の構築、又は橋梁の強度等の  
問題には指針を與へるものがあらう。

以上

結言 此度の地震は岡山県としては未曾有とも謂ふべく 80才の老人も経験しないと言ふ、そして死者54名 家屋3000個の被害と  
橋梁 堤防の損害は可成り大きい しかし生産方面への直接の被害は少い模様である  
岡山県としては地震帯外にあつて将来斯様な地震に対する対策は軽く考へられようが 新生低地に於ける家屋の構造、堤防  
の構築、又は橋梁の強度等の問題には指針を與へるものがあらう

以上

# 岡山地方気象台に残る 昭和南海地震の写真

岡山地方気象台に残っている、岡山測候所(当時)が新聞社などから集めたと思われる写真。  
当時の新聞のスクラップ等から出所がわかるものについては注釈をつけた。



庄国民学校 都窪郡庄村(倉敷市)＜合同新聞昭和21年12月22日より推定＞ 岡山地方気象台





山陽朝報 昭和21年12月22日 上道郡沖田村(岡山市中区)



夕刊岡山 昭和21年12月23日 都窪郡福田村(岡山市中区)







合同新聞昭和21年12月22日 上道郡操陽村(岡山市中区)



岡山地方気象台





小田郡今井村(笠岡市)＜山陽朝報 昭和21年12月23日より推定＞

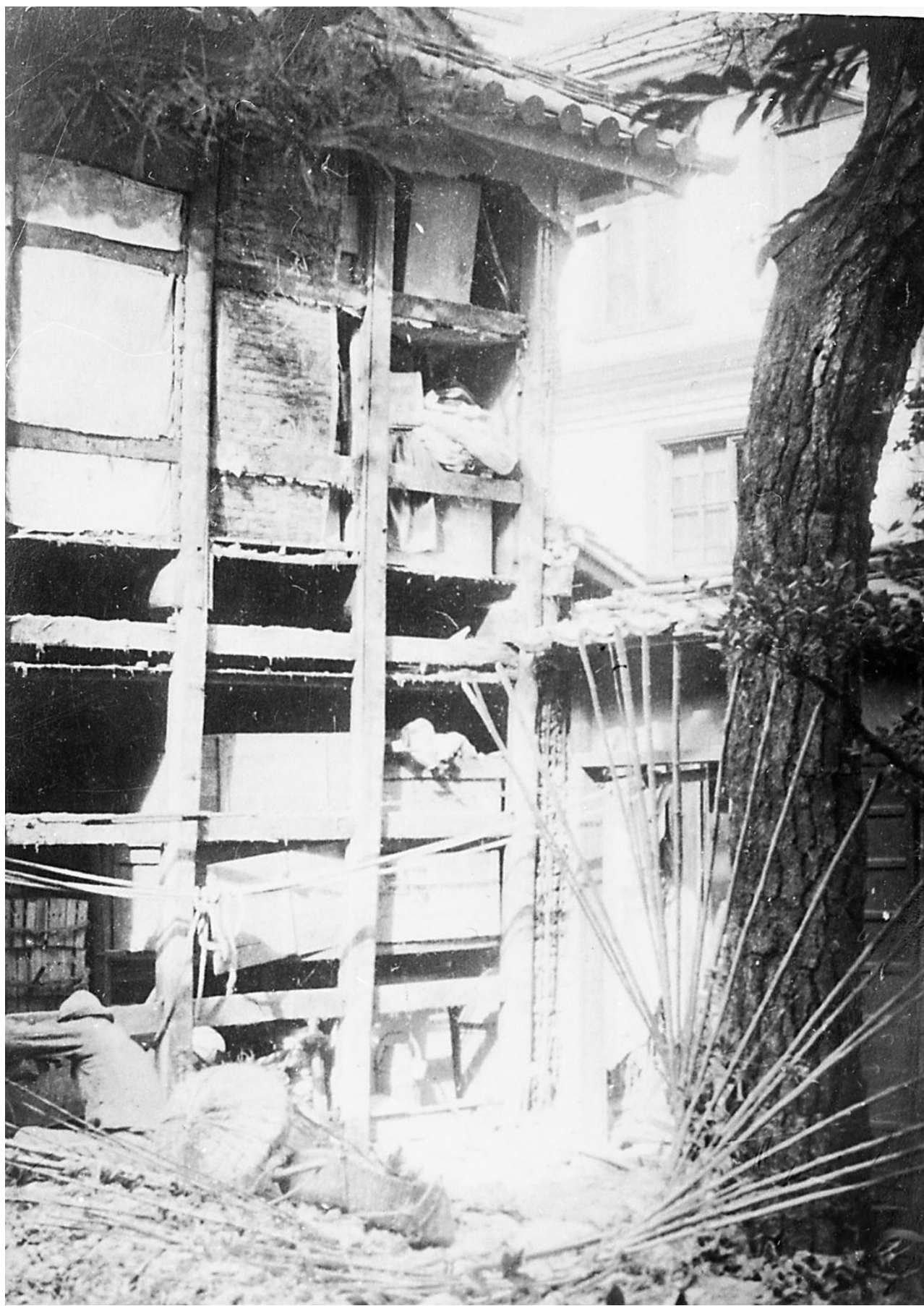




合同新聞昭和21年12月22日 岡山市平井付近 岡山地方気象台







岡山地方気象台

